

臨床検査学エッセンスノート

臨床生理機能検査	B5判	276頁	定価 4,200円＋税
臨床形態検査	B5判	240頁	定価 4,000円＋税
臨床生物化学分析検査	B5判	280頁	定価 4,000円＋税
臨床病因生体防御検査	B5判	376頁	定価 4,600円＋税

出版社：株式会社メジカルビュー社

メジカルビュー社から可愛い若葉マークがついた臨床検査学エッセンスノートが2013年に4冊発刊された。上記の4冊で、編集をなさったのは磯部智範先生、山内一由先生である。

従来の教科書や専門書とはかく専門性を重視して書くあまり、難解な文章になってしまう。本を開いて読み始めても、わからないところにつまずくと勉強する意欲をとかく失いがちである。情報が氾濫している今日、学生は理解しがたいことを知るためにネット検索をする。確かに豊富な情報があることを知ることはできるが、一つ一つを読みはじめると、色々な解釈に戸惑ってしまいどれが正しいのか、かえって理解する力を失ってしまうというのが現状であろう。

本を手に取りこの本は読もうと思うのは、開いた途端に目に飛び込む紙面の構成である。

本書は全て紫の濃淡で紙面が作られており、過剰なまでの色の氾濫がないスマートな作りである。目次もわかりやすく、本書から学べることがざっと頭に入る。次を開いてみると用語説明補足 Coffee Break 一覧が出てくる。この構成は素晴らしい。この一覧から、学生は講義で聞いたがわからないままであった用語を見出すに違いない。本文を開いてみる。イラストや写真が多く使われ、その解説文も簡条書きでとても理解しやすい。また紙面びっしり文字が書いてあるとうんざりするが、本書は適当な空白があり、そこに書き込みができるのでサブテキストとしての活用もできる。もう少し詳しく知っておきたい用語は補足として囲みの文章になっているのも親切な計らいである。Coffee Break は章によって多い少ないがあるが、書かれている文章はいずれもなるほどうなずける内容である。

本書は初めて臨床検査を学ぶ学生が臨床検査を学ぶ意欲を掻き立てられるように構成されているので専門書を読む前の入門書として最適であり、また書き込みができるので、マイノートとして活用することも可能である。学生だけでなく、臨床検査技師として働いている人も、部門が変わった時などにもう一度読み直してみる本としても使える。

常に手元に置いておきたい本のシリーズである。

(文京学院大学名誉教授 芝紀代子)